

県道や町道などの道路沿いを整備  
道路ふれあい月間



▲草刈り機で草木を刈る参加者

8月1日～8月31日は道路ふれあい月間です。  
8月4日、町内の県道や町道などの道路沿いのり面の整備が行われました。  
道路愛護事業は、道路美化・安全使用の意識を高め、道路愛護思想の普及を図ることを目的に、毎年8月の第1金曜日に実施し、町内の建設業者や水道業者、建設コンサルタント業者、町職員など約110人が参加しました。  
同事業では、自分たちの背丈まで伸びた草木を草刈り機で刈ったり、道路わきに捨てられた空き缶やペットボトル、ごみを拾ったりして道路沿いの整備を行いました。

道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」  
3か月で来場者 30万人達成

8月4日、道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の来場者が30万人を達成し、記念セレモニーが行われました。  
記念すべき30万人の達成者は北一行さんと妻美代子さん、長男護行くん、長女涼葉さんの4人家族（さいたま市在住）で関係者とくす玉を割り、函南ブランドの詰め合わせを記念品として手渡し、来館者30万人の達成を祝いました。  
北さんは、「偶然でびっくりした。伊豆旅行の休憩で立ち寄った。同施設はコンパクトだがお店もあって景色も良くて落ち着く。帰りにもまた立ち寄りたい」と笑顔で話してくれました。



▲道の駅のマスコットキャラクターに祝福される北さん一家

地域の支えあいフォーラムを開催  
安心して暮らし続けるために



▲参加者への意識調査を行いながら講演する堀田さん

8月7日、函南町役場で「地域の支えあいフォーラム」が行われました。  
同フォーラムは、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために地域の支えあい活動を推進することを目的に開催し、約130人が参加しました。  
講演では、堀田力さん（さわやか福祉財団）を講師に招き、「みんなで作ろう みんなの町」をテーマに参加者へ「今ある」「欲しい」「参加したい」地縁活動やボランティア活動などの意識調査などを行いました。この他に、町の高齢化の現状と課題の説明や居場所づくりの事例発表が行われました。

夏休みわくわくまつり  
読み聞かせやワークショップを楽しむ



▲めんぼーくんと一緒に楽しむ参加者

8月1日、東京五輪旗とパラリンピック旗を披露する「フラッグツアー」の自転車キャラバン隊が函南町役場に到着しました。  
同フラッグツアーは、3年後に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技が伊豆市で行われるため、機運を高めようと7月30日～8月2日までの4日間、自転車で県内市町を巡回し、オリンピック・パラリンピックのフラッグを披露しました。  
キャラバン隊は、伊豆市ベロドロームを出発し、富士宮市、函南町、熱海市、下田市など県内東部地域の市町を経由し、伊豆市役所へ向かいました。

東京五輪旗とパラリンピック旗を披露  
自転車キャラバン隊が函南へ



▲オリンピック・パラリンピックのフラッグが手渡されました

函中陸上部・柔道部の部員  
東海大会・全国大会への出場報告



▲東海大会・全国大会へ出場報告する生徒

8月2日、函南中学校の陸上部・柔道部の部員が東海大会・全国大会に出場することを森町長に報告しました。  
陸上部からは菅田ももさん（3年）が共通1,500mで県4位で東海大会・全国大会へ、鈴木舜弥さん（3年）が共通走り幅跳びで県5位、菅沼翔也さん（3年）が共通3,000mで県3位、岩崎陽生さん（2年）が2年1,500mで県5位、溝田康貴さん（1年）が1年1,500mで県3位、四反田翔汰さん（1年）が1年100mで県2位でそれぞれ東海大会へ。柔道部からは山本遥斗さん（3年）が55kg級個人戦で県3位で東海大会へ出場します。  
出場する選手は、「悔いのないように全力を尽くしたい」。などの抱負を述べました。